

いわた 文化財だより 第250号

磐田市教育委員会教育部文化財課 令和8年1月5日発行

目次

- いざ、磐田の城へ！
～天下人秀吉が生き抜いた戦国時代～・・・P1～2
- イワタ深掘り 文化財だより Ver. ②・・・P3
- 文化財課 Instagram はじめました！・・・P4
- コラム『よみがえれ！掛塚のにぎわい』谷口安曇P4

歴史を観光に活かす

いざ、磐田の城へ！

～天下人秀吉が生き抜いた
戦国時代～

2026年NHK大河ドラマの主要キャスト豊臣秀吉。

この、秀吉が生き抜いた戦国時代には、争いから大切な生命と財産を守るため各地に「城」が築られました。磐田の地も例外ではなく、市内各地に城が築かれ、その痕跡を今に伝えています。

今回は、来月開催予定の歴史シンポジウムと併せ、市内の代表的な城を紹介します。



きのさきじょう ①城之崎城

遠江国を支配下に入れた徳川家康が永禄12年(1569)の秋から居城として見付の南東に築き始めた城です。翌年の元亀元年(1570)に造営中止となりましたが、その原因として、当時、甲斐の武田信玄との対立が深まるなかで、天竜川を背にすることが戦略的に不利と考えたためか完成に至らなかったとも言われています。

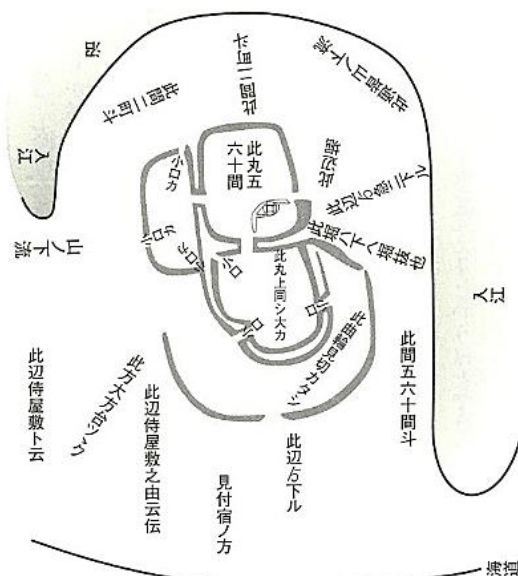
現在、土塁の一部などが城山球場の中に残り、城の大きさを実感することができます。



城山球場（空撮）



曲輪から見た土塁の様子
(城山球場改修時 昭和55年頃)



「遠州見付古城図」(蓬左文庫蔵をトレース)
1/4 いわた文化財だより 第250号

② 中泉御殿

天正 15 年(1587)頃、小堡(小^{しょう}さい^{ほう}砦)として機能していた場所に徳川家康が建てたとされます。御殿は、徳川家が東海道を往来する際の宿泊・休憩施設です。家康は度々ここを訪れ、南に広がる大池で鷹狩をおこなっていました。

絵図や発掘調査により、城のように土塁と堀を持つ施設であったことがわかっています。



御殿遺跡公園



中泉御殿を囲っていた幅約 10m の堀

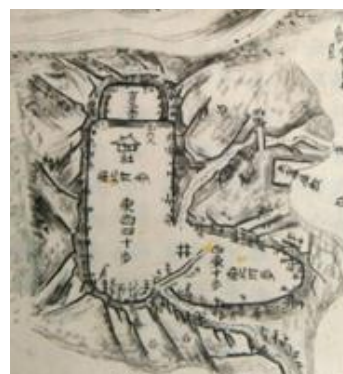


中泉八幡宮領絵図【個人所蔵】

③ 社山城

磐田原台地の北端、標高 136m の丘陵に築かれた山城です。天竜川により西側は急な崖地形になっており、山頂から浜松・二俣方面が望めます。現在、城跡には土塁や堀といった敵から攻撃を防ぐ造りが随所に見られます。

詳しくは、下記シンポジウムとプレイベントで解説しますので、ぜひお誘いあわせのうえお越しください。



社山城跡図(『遠江国風土記伝』)所収

歴史シンポジウム

春風亭昇太と語る秀吉時代の磐田 いざ、遠州社山城！

- 日 時 令和 8 年 2 月 23 日 (月・祝) 13:00～
- 会 場 磐田市民文化会館 かたりあ大ホール
- 出演者 春風亭昇太師匠
(公益社団法人落語芸術協会会長、日本演芸家連合理事)
加藤理文先生
(磐田市文化財保護審議会副会長・日本城郭協会常務理事)

- 総合司会 内山絵里加氏 (フリーアナウンサー)
- チケット販売 磐田市民文化会館オンラインチケットサービス
または、ららぽーと磐田内磐田市情報館



チケット
サービス



特設サイト

プレイベント 歴史見学会 社山城！ ～初春の城跡を歩く～

- 日 時 令和 8 年 2 月 22 日 (日) 9:30～12:00
- 会 場 社山城 ■ 定 員 30 人 (定員を上回る場合抽選)
- 案内者 文化財課職員、磐田市観光ボランティアガイド
- 申 込 右二次元コードを読み取り、ロゴフォームから ※ 1 月 30 日 〆切



申込フォーム

イワタ 深掘り

ー イセキでワクワク♪ タイムトラベル ー

文化財だより Ver.②

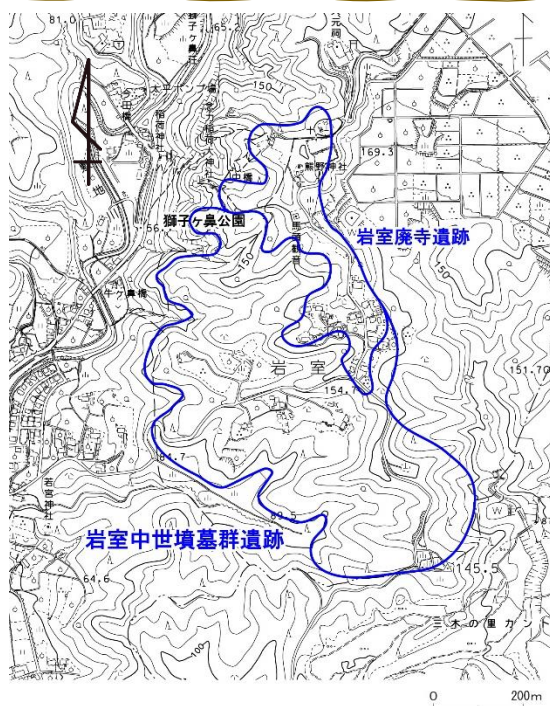
いわむろ ふんぼぐん
岩室中世墳墓群遺跡

磐田市合併から 20 年の間に発掘・整理をおこなった遺跡を紹介するシリーズです。今回は、豊岡地区の岩室中世墳墓群遺跡を取り上げます。

岩室中世墳墓群とは

敷地地区岩室山の丘陵に位置する、岩(巖)室寺という山寺に関連する遺跡です。岩室寺は、平安時代から鎌倉時代にかけて栄えたとされ、鎌倉時代の歴史書『吾妻鏡』にもこの寺と推定される寺が登場しています。

市道改良工事に伴い、平成 17 年度に発掘調査をおこないました。



調査結果



集石墓が隣り合う様子



集石墓

調査範囲から 12 基の集石墓が発見されました。扁平な砂岩で四辺を囲み、その中に土砂を入れ積み上げたもので、形は主に 1 辺 2 m 程度の正方形で、0.5m ほどの高さがありました。中心に火葬した骨を納めるための穴が掘ってありました。骨は骨蔵器や袋などの入れ物に入れられたと考えられます。

これらの出土品から、13 世紀前半ごろ（鎌倉時代）に造られた墓だと考えられます。

僧侶など当時の岩室寺の関係者が葬られていたと考えられます。

また、集石墓の下からは、地面が赤く焼けた跡も見つかっており、火葬した後、その上に墓を造ったと考えられます。

骨蔵器について

出土した 2 つの骨蔵器（骨壺）は、それぞれ四耳壺（※1）、瓶子（※2）と呼ばれる瀬戸産陶器でした。本来は酒などを入れるためのものですが、頸部を打ち欠き、山茶碗で蓋をすることで、骨蔵器として転用していたようです。

※1 紐を通すための 4 つの耳が肩部に付いた壺

※2 口縁部が細くすばまった壺

出土した瓶子（高さ 27.3cm）

3/4 いわた文化財だより 第 250 号



旬な情報
お届けします

文化財課 Instagram はじめました！

文化財課のInstagramをはじめました。企画展などの展示・イベント情報や、文化財を紹介しています。文化財だよりでは掲載しきれない、タイムリーな話題も投稿しています。

ぜひ、右二次元コードからフォローをお願いいたします。

■これまでの投稿内容■

埋蔵文化財センター期間限定公開トピック展示、
イベント参加者募集告知など



文化財課イメージキャラクターともちゃん



職員リレー コラム

よみがえれ！掛塚のにぎわい

谷口 安曇

令和7年11月17日に、掛塚の旧関家住宅（つたや）主屋・土蔵が国登録有形文化財になりました。掛塚地区では4件目、市内では12件目の登録です。

江戸時代には木材の集積地や木材積出港として栄えた掛塚は、旧廻船問屋の主屋や蔵が多く残り当時のにぎわいを感じることができます。一方で、全国各地で対策を求められている「空き家」が掛塚でも増えています。

昨年10月に空き家対策の一環として、地域おこし協力隊が国登録有形文化財旧津倉家住宅内に、「かけラボ」（かけつかからはじめる 空き家の魅力発信ラボ）をオープンしました。空き家対策担当の協力隊員3名が、空き家の所有者や空き家を活用したい方の相談にのります。毎週月曜日から水曜日の9時から17時で相談を受け付けています。相談物件に出向いて実際に物件を見ながらの相談もおこなっています。

登録有形文化財は、文化財の保存だけでなく活用に重点をおいた制度で、建物内部の改装は自由にすることができますので、活用の幅が広がります。

今後、掛塚の国登録有形文化財や空き家が市民のみなさんによって活用され、にぎわいが生まれる日が楽しみです。

今回ご紹介した「かけラボ」について詳しくは右二次元コードからご覧ください。



相談風景



編集後記 文化財だより第250号！特別なことはしませんが、きりの良い数字になんだか嬉しい気持ちになりました。今後とも、文化財だよりをよろしくお願いいたします。

発行：磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。 磐田 文化財だより

検索

